

# HSBC インドネシア債券 オープン(毎月決算型)

◎当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/債券	
信託期間	2010年8月26日～2025年8月7日	
運用方針	HSBC インドネシア債券マザーファンド 受益証券への投資を通じて、主にインドネシア共和国（「インドネシア」）の債券等に投資することにより、安定したインカムゲインの確保とともに、信託財産の中長期的な成長を目指します。	
主要運用対象	HSBC インドネシア債券オープン(毎月決算型)	HSBC インドネシア債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	HSBC インドネシア債券マザーファンド	主に、インドネシアの政府、政府機関もしくは企業等が発行する現地通貨建債券に投資します。
組入制限	HSBC インドネシア債券オープン(毎月決算型)	株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権の行使等により取得したものに限るものとし、株式への実質投資割合は信託財産の純資産総額の10%以内とします。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	HSBC インドネシア債券マザーファンド	株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権の行使等により取得したものに限るものとし、株式への投資は信託財産の純資産総額の10%以内とします。外貨建資産への投資には制限を設けません。
分配方針	年12回の決算時（毎月7日、休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき、分配を行います。 ①分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ②分配金額は、委託者が基準価額水準・市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。 ③留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

## 運用報告書（全体版）

第115期	（決算日	2020年3月9日）
第116期	（決算日	2020年4月7日）
第117期	（決算日	2020年5月7日）
第118期	（決算日	2020年6月8日）
第119期	（決算日	2020年7月7日）
第120期	（決算日	2020年8月7日）

## ◎受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「HSBC インドネシア債券オープン(毎月決算型)」は、2020年8月7日に第120期の決算を行いましたので、第115期～第120期の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

## HSBC 投信株式会社

東京都中央区日本橋3-11-1 HSBCビルディング  
 <<お問い合わせ先（投信営業本部）>>  
 電話番号：03-3548-5690  
 （営業日の午前9時～午後5時）  
 ホームページ：www.assetmanagement.hsbc.co.jp



◎最近5作成期の運用実績

作成期	決 算 期	基 準 価 額 ( 分 配 落 )	期 騰 落 中 率		債 券 組 入 率 比	債 券 先 物 率 比	純 資 産 額 総
			税 込 分 配 金	騰 落 率			
第16作成期	第91期(2018年3月7日)	円 5,546	円 25	% △ 6.6	% 97.7	% —	百万円 36,512
	第92期(2018年4月9日)	5,661	25	2.5	97.8	—	36,895
	第93期(2018年5月7日)	5,532	25	△ 1.8	98.1	—	35,662
	第94期(2018年6月7日)	5,536	25	0.5	92.4	—	35,077
	第95期(2018年7月9日)	5,169	25	△ 6.2	98.1	—	32,321
	第96期(2018年8月7日)	5,152	25	0.2	97.8	—	31,774
第17作成期	第97期(2018年9月7日)	4,813	25	△ 6.1	96.8	—	29,204
	第98期(2018年10月9日)	4,775	25	△ 0.3	97.5	—	28,480
	第99期(2018年11月7日)	5,008	25	5.4	96.4	—	29,428
	第100期(2018年12月7日)	5,135	25	3.0	98.2	—	29,693
	第101期(2019年1月7日)	4,986	25	△ 2.4	97.6	—	28,512
	第102期(2019年2月7日)	5,256	25	5.9	98.3	—	29,710
第18作成期	第103期(2019年3月7日)	5,241	25	0.2	98.0	—	28,925
	第104期(2019年4月8日)	5,318	25	1.9	98.4	—	29,069
	第105期(2019年5月7日)	5,135	25	△ 3.0	97.8	—	27,850
	第106期(2019年6月7日)	4,985	25	△ 2.4	98.5	—	26,883
	第107期(2019年7月8日)	5,288	25	6.6	98.4	—	28,346
	第108期(2019年8月7日)	5,033	25	△ 4.3	98.2	—	26,500
第19作成期	第109期(2019年9月9日)	5,163	25	3.1	98.1	—	27,050
	第110期(2019年10月7日)	5,188	25	1.0	98.3	—	26,928
	第111期(2019年11月7日)	5,400	25	4.6	97.7	—	27,297
	第112期(2019年12月9日)	5,343	25	△ 0.6	98.6	—	26,327
	第113期(2020年1月7日)	5,340	25	0.4	98.2	—	25,602
	第114期(2020年2月7日)	5,661	25	6.5	97.9	—	25,928
第20作成期	第115期(2020年3月9日)	4,995	25	△11.3	98.1	—	22,222
	第116期(2020年4月7日)	4,264	25	△14.1	98.0	—	18,845
	第117期(2020年5月7日)	4,556	25	7.4	97.7	—	20,050
	第118期(2020年6月8日)	5,290	25	16.7	98.3	—	23,076
	第119期(2020年7月7日)	5,022	25	△ 4.6	98.4	—	21,552
	第120期(2020年8月7日)	5,000	25	0.1	98.0	—	21,139

(注) 基準価額の期中騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

◎当作成期中の基準価額等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		債券組入率 比	債券先物率 比
		円	騰 落 率 %		
第115期	(期首)2020年2月7日	5,661	—	97.9	—
	2月末	5,436	△ 4.0	98.0	—
	(期末)2020年3月9日	5,020	△11.3	98.1	—
第116期	(期首)2020年3月9日	4,995	—	98.1	—
	3月末	4,334	△13.2	98.0	—
	(期末)2020年4月7日	4,289	△14.1	98.0	—
第117期	(期首)2020年4月7日	4,264	—	98.0	—
	4月末	4,549	6.7	97.3	—
	(期末)2020年5月7日	4,581	7.4	97.7	—
第118期	(期首)2020年5月7日	4,556	—	97.7	—
	5月末	4,922	8.0	97.6	—
	(期末)2020年6月8日	5,315	16.7	98.3	—
第119期	(期首)2020年6月8日	5,290	—	98.3	—
	6月末	5,108	△ 3.4	98.1	—
	(期末)2020年7月7日	5,047	△ 4.6	98.4	—
第120期	(期首)2020年7月7日	5,022	—	98.4	—
	7月末	4,941	△ 1.6	97.6	—
	(期末)2020年8月7日	5,025	0.1	98.0	—

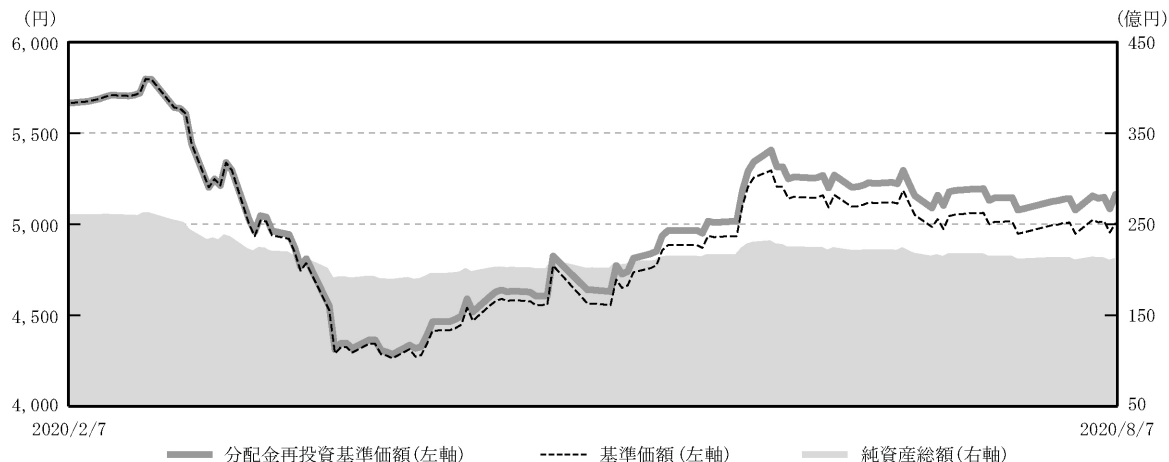
(注) 期末基準価額は分配金込み。騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ◎ 当作成期の運用状況と今後の運用方針

### 1. 基準価額等の推移について（第115期～第120期：2020年2月8日～2020年8月7日）



#### 【基準価額・騰落率】

第115期首：5,661円

第120期末：5,000円（既払分配金（税込み）：150円）

騰落率：-8.9%（分配金再投資ベース）

- \* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- \* 分配金を再投資するか否かについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、それぞれのお客様の損益の状況を示すものではありません。
- ・ 分配金再投資基準価額は、作成期首（2020年2月7日）の値を基準価額と同一になるよう指数化しております。

### 2. 基準価額の主な変動要因

#### <上昇要因>

組入銘柄の利子収入がプラスに寄与しました。

#### <下落要因>

インドネシアルピアが対円で大幅に下落したことがマイナスに寄与しました。

### 3. 投資環境について

#### 【債券市況】

インドネシア債券市場は、作成期初から3月下旬にかけては、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を背景とした投資家のリスク回避志向の高まりを受けて、大幅に下落（利回りは上昇）しました。その後、作成期末までは、新型コロナウイルス感染者数のピークアウトの兆候、投資家のリスク選好度の回復を受けて、債券価格は上昇（利回りは低下）基調をたどりました。

#### 【為替相場】

インドネシアルピアは、作成期初から3月末にかけては、新型コロナウイルスの感染拡大を背景とした投資家のリスク回避志向の高まりを受けて、対円で大幅に下落しました。4月から6月初めまでは、投資家のリスク選好度の回復を受けて、インドネシアルピアは対円で反転上昇しました。その後、作成期末までは、円高の進行を背景に、インドネシアルピアは対円で下落傾向となりました。

### 4. ポートフォリオについて

#### <HSBC インドネシア債券オープン（毎月決算型）>

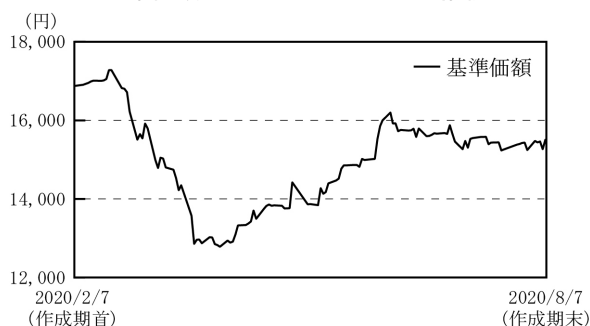
「HSBC インドネシア債券マザーファンド」への投資を通じて、主にインドネシア政府が発行する現地通貨建債券に投資しました。

#### <HSBC インドネシア債券マザーファンド>

引き続き中・長期国債を中心に投資しました。債券の組入比率は、残存期間1年以上～10年未満の債券が51～60%、10年以上の債券は39～48%としました。

なお、作成期を通じて、組入債券のデュレーションは5.8～6.3年程度に維持しました。

基準価額（マザーファンド）の推移



### 5. ベンチマークとの差異について

当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

## 6. 分配金について

第115期から第120期における分配金は、基準価額の水準・市況動向等を勘案し、いずれも25円（1万口当たり・税引前）とさせていただきます。

なお、留保益の運用につきましては特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

## 7. 今後の運用方針

インドネシアはこれまで年率5%程度の経済成長を遂げてきましたが、新型コロナウイルスの感染拡大を背景とした国内外の需要と供給の低下により、短期的には大幅に成長率が低下すると見られます。なお、インドネシア銀行（中央銀行）は、引き続き景気をサポートすべく、必要に応じて利下げなどの政策対応を取ると思われます。

中長期的な視点では、新興国経済の中でのインドネシアの優位性は変わることがないと考えます。また、新型コロナウイルス感染症による世界経済の混乱に収束の兆しが見えれば、相対的に良好なマクロ経済基盤と高い債券利回りから、インドネシア債券は再び世界の投資家の注目を集めるとみられます。

### <HSBC インドネシア債券オープン（毎月決算型）>

「HSBC インドネシア債券マザーファンド」への投資を通じて、主にインドネシアの政府、政府機関もしくは企業等が発行する現地通貨建債券に投資することにより、安定したインカムゲインの確保とともに、信託財産の中長期的な成長を目指します。

### <HSBC インドネシア債券マザーファンド>

引き続き中・長期国債の組入比率を高めに維持する方針です。新型コロナウイルス感染症問題と世界経済の先行きがインドネシアを含めた世界の金融市場の不透明要因ですが、運用にあたってはこれらの状況を注視していきます。

◎1万口当たりの費用明細

項目	作成期間(第115期～第120期)		項目の概要
	2020/2/8～2020/8/7		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 41	% 0.848	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	(21)	(0.438)	ファンドの運用等の対価 (運用委託先への報酬が含まれます。)
( 販 売 会 社 )	(19)	(0.383)	分配金・換金代金の支払い、運用報告書等の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
( 受 託 会 社 )	( 1 )	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	13	0.265	(b) その他費用＝作成期中のその他費用／作成期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	( 2 )	(0.042)	海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡費用
( 監 査 費 用 )	( 0 )	(0.003)	監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
( そ の 他 )	(11)	(0.220)	振替制度にかかる費用、印刷業者に支払う法定書類にかかる費用等
合計	54	1.113	
作成期中の平均基準価額は、4,881円です。			

(注) 作成期中の費用 (消費税等のかかるものは消費税等を含む) は、追加設定・一部解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、「(b)その他費用」は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各金額は、項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

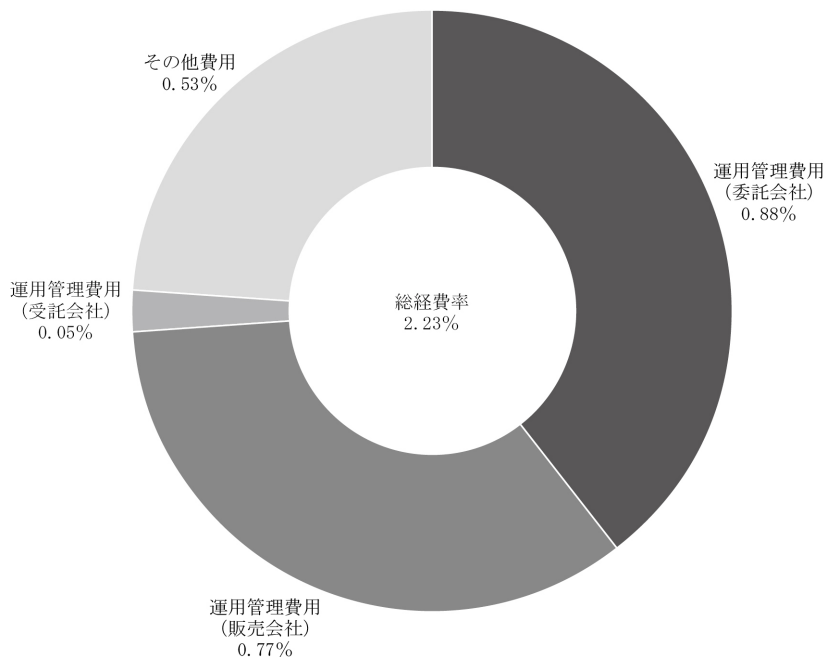
(注) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額 (円未満の端数を含む) を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注) 「投信会社」は、以下、「委託者」、「委託会社」という場合があります。

(注) 「(b)その他費用」の「(その他)」には、債券売却時に支払った外国税 (1万口当たり10円) が含まれます。

### (参考情報) 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は2.23%です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、購入時手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。



◎親投資信託受益証券の設定、解約状況（2020年2月8日から2020年8月7日まで）

決 算 期	第 115 期 ～ 第 120 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
HSBC インドネシア債券マザーファンド	千口 287,142	千円 428,934	千口 2,017,697	千円 3,105,601

（注）単位未満は切捨て。

◎利害関係人との取引状況（2020年2月8日から2020年8月7日まで）

親投資信託における当作成期中の利害関係人との取引状況

区 分	第 115 期 ～ 第 120 期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 7,778	百万円 —	% —	百万円 10,469	百万円 331	% 3.2

平均保有割合100.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該子ファンドの親投資信託所有口数の割合です。

（注）単位未満は切捨て。

\*利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは、  
ザ・ホンコン・アンド・シャンハイ・バンキング・コーポレーション・リミテッド（東京）です。

◎組入資産の明細

親投資信託残高

2020年8月7日現在

種 類	第19作成期末		第 20 作 成 期 末	
	口 数		口 数	評 価 額
HSBC インドネシア債券マザーファンド	千口 15,453,272		千口 13,722,718	千円 21,278,447

（注）単位未満は切捨て。

◎投資信託財産の構成

2020年8月7日現在

項 目	第 20 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
HSBC インドネシア債券マザーファンド	千円 21,278,447	% 99.7
コール・ローン等、その他	71,287	0.3
投資信託財産総額	21,349,734	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) HSBC インドネシア債券マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産 (21,127,516千円) の投資信託財産総額 (21,350,178千円) に対する比率は99.0%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは1米ドル=105.59円、100インドネシアルピア=0.73円です。

◎資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	(2020年3月9日)	(2020年4月7日)	(2020年5月7日)	(2020年6月8日)	(2020年7月7日)	(2020年8月7日)
	第 115 期 末	第 116 期 末	第 117 期 末	第 118 期 末	第 119 期 末	第 120 期 末
(A) 資 産	22,456,385,112円	18,999,066,503円	20,204,079,429円	23,279,991,806円	21,781,935,974円	21,349,734,144円
HSBC インドネシア債券マザーファンド(評価額)	22,370,275,508	18,984,708,802	20,190,167,455	23,219,393,592	21,692,058,543	21,278,447,020
未 収 入 金	86,109,604	14,357,701	13,911,974	60,598,214	89,877,431	71,287,124
(B) 負 債	234,242,757	153,338,673	153,324,854	203,240,391	229,472,886	210,114,297
未 払 収 益 分 配 金	111,229,858	110,498,418	110,025,385	109,060,295	107,279,730	105,697,878
未 払 解 約 金	86,109,604	14,357,701	13,911,974	60,598,214	89,877,431	71,287,124
未 払 信 託 報 酬	36,370,021	27,545,399	28,039,216	31,767,810	30,060,888	30,853,374
その他未払費用	533,274	937,155	1,348,279	1,814,072	2,254,837	2,275,921
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	22,222,142,355	18,845,727,830	20,050,754,575	23,076,751,415	21,552,463,088	21,139,619,847
元 本	44,491,943,514	44,199,367,596	44,010,154,206	43,624,118,094	42,911,892,111	42,279,151,329
次 期 繰 越 損 益 金	△22,269,801,159	△25,353,639,766	△23,959,399,631	△20,547,366,679	△21,359,429,023	△21,139,531,482
(D) 受 益 権 総 口 数	44,491,943,514口	44,199,367,596口	44,010,154,206口	43,624,118,094口	42,911,892,111口	42,279,151,329口
1万口当たり基準価額(C/D)	4,995円	4,264円	4,556円	5,290円	5,022円	5,000円

<注記事項(当運用報告書作成時点では、監査未了です。)>

(注) 当ファンドの第115期首元本額は45,801,817,261円、第115~120期中追加設定元本額は865,630,937円、第115~120期中一部解約元本額は4,388,296,869円です。

(注) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

## ◎損益の状況

項 目	自2020年2月8日 至2020年3月9日	自2020年3月10日 至2020年4月7日	自2020年4月8日 至2020年5月7日	自2020年5月8日 至2020年6月8日	自2020年6月9日 至2020年7月7日	自2020年7月8日 至2020年8月7日
	第 115 期	第 116 期	第 117 期	第 118 期	第 119 期	第 120 期
(A) 有価証券売買損益	△ 2,817,471,560円	△ 3,088,073,837円	1,423,052,121円	3,341,389,358円	△ 1,010,269,576円	40,558,923円
売 益	14,988,093	16,641,197	1,429,871,307	3,356,865,893	13,133,308	59,835,738
買 損	△ 2,832,459,653	△ 3,104,715,034	△ 6,819,186	△ 15,476,535	△ 1,023,402,884	△ 19,276,815
(B) 信託報酬等	△ 36,903,295	△ 27,949,280	△ 28,450,340	△ 32,233,603	△ 30,501,653	△ 30,874,458
(C) 当期損益金(A+B)	△ 2,854,374,855	△ 3,116,023,117	1,394,601,781	3,309,155,755	△ 1,040,771,229	9,684,465
(D) 前期繰越損益金	△ 2,871,658,049	△ 5,776,838,172	△ 8,937,502,140	△ 7,561,456,772	△ 4,278,420,956	△ 5,330,149,259
(E) 追加信託差損益金	△ 16,432,538,397	△ 16,350,280,059	△ 16,306,473,887	△ 16,186,005,367	△ 15,932,957,108	△ 15,713,368,810
(配当等相当額)	( 1,338,668,222)	( 1,332,011,245)	( 1,327,906,898)	( 1,317,886,223)	( 1,297,667,635)	( 1,279,826,116)
(売買損益相当額)	(△17,771,206,619)	(△17,682,291,304)	(△17,634,380,785)	(△17,503,891,590)	(△17,230,624,743)	(△16,993,194,926)
(F) 計 (C+D+E)	△ 22,158,571,301	△ 25,243,141,348	△ 23,849,374,246	△ 20,438,306,384	△ 21,252,149,293	△ 21,033,833,604
(G) 収益分配金	△ 111,229,858	△ 110,498,418	△ 110,025,385	△ 109,060,295	△ 107,279,730	△ 105,697,878
次期繰越損益金(F+G)	△ 22,269,801,159	△ 25,353,639,766	△ 23,959,399,631	△ 20,547,366,679	△ 21,359,429,023	△ 21,139,531,482
追加信託差損益金	△ 16,432,538,397	△ 16,350,280,059	△ 16,306,473,887	△ 16,186,005,367	△ 15,932,957,108	△ 15,713,368,810
(配当等相当額)	( 1,338,986,747)	( 1,332,252,822)	( 1,328,151,320)	( 1,318,123,884)	( 1,297,840,362)	( 1,280,045,408)
(売買損益相当額)	(△17,771,525,144)	(△17,682,532,881)	(△17,634,625,207)	(△17,504,129,251)	(△17,230,797,470)	(△16,993,414,218)
分配準備積立金	497,626,167	450,046,044	440,119,313	440,076,606	398,769,070	364,454,890
繰越損益金	△ 6,334,888,929	△ 9,453,405,751	△ 8,093,045,057	△ 4,801,437,918	△ 5,825,240,985	△ 5,790,617,562

(注) (A) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (B) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 第115期計算期間末における費用控除後の配当等収益(82,046,247円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(1,338,986,747円)および分配準備積立金(526,809,778円)より分配対象収益は1,947,842,772円(10,000口当たり437円)であり、うち111,229,858円(10,000口当たり25円)を分配金額としております。

(注) 第116期計算期間末における費用控除後の配当等収益(67,429,232円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(1,332,252,822円)および分配準備積立金(493,115,230円)より分配対象収益は1,892,797,284円(10,000口当たり428円)であり、うち110,498,418円(10,000口当たり25円)を分配金額としております。

(注) 第117期計算期間末における費用控除後の配当等収益(103,224,036円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(1,328,151,320円)および分配準備積立金(446,920,662円)より分配対象収益は1,878,296,018円(10,000口当たり426円)であり、うち110,025,385円(10,000口当たり25円)を分配金額としております。

(注) 第118期計算期間末における費用控除後の配当等収益(114,011,643円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(1,318,123,884円)および分配準備積立金(435,125,258円)より分配対象収益は1,867,260,785円(10,000口当たり428円)であり、うち109,060,295円(10,000口当たり25円)を分配金額としております。

(注) 第119期計算期間末における費用控除後の配当等収益(73,019,439円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(1,297,840,362円)および分配準備積立金(433,029,361円)より分配対象収益は1,803,889,162円(10,000口当たり420円)であり、うち107,279,730円(10,000口当たり25円)を分配金額としております。

(注) 第120期計算期間末における費用控除後の配当等収益(77,357,084円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(1,280,045,408円)および分配準備積立金(392,795,684円)より分配対象収益は1,750,198,176円(10,000口当たり413円)であり、うち105,697,878円(10,000口当たり25円)を分配金額としております。

(注) 親投資信託の投資信託財産の運用指図に係る権限を委託するために要する費用として、委託者報酬の中から支弁した額は、27,072,903円です。

## ◎分配金のお知らせ

	第115期	第116期	第117期	第118期	第119期	第120期
1万口当たり分配金（税込み）	25円	25円	25円	25円	25円	25円

- ◇分配金をお支払いする場合：原則として決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始いたします。
- ◇分配金を再投資する場合：決算日現在の基準価額に基づいて、税金を差し引いた後、皆さまの口座に繰り入れて再投資いたします。
- ◇分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
  - 普通分配金 … 分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額普通分配金となります。
  - 元本払戻金 … 分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの部分は普通分配となります。元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

## ◎分配原資の内訳

（単位：1万口当たり・税引前）

	第115期	第116期	第117期	第118期	第119期	第120期
当期分配金	25円	25円	25円	25円	25円	25円
（対基準価額比率）	0.498%	0.583%	0.546%	0.470%	0.495%	0.498%
当期の収益	18円	15円	23円	25円	17円	18円
当期の収益以外	6円	9円	1円	—	7円	6円
翌期繰越分配対象額	412円	403円	401円	403円	395円	388円

- ◇「（対基準価額比率）」は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率です。この値はファンドの収益率を表すものではない点にご留意ください。
- ◇「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税及び復興特別所得税15.315%、並びに住民税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

※税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。

※税金の取扱いの詳細については、税務の専門家等にご確認されることをお勧めします。

◆親投資信託「HSBC インドネシア債券マザーファンド」の運用状況  
第10期（2019年8月8日～2020年8月7日）

◎当ファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	主にインドネシアの債券等に投資することにより、安定したインカムゲインの確保とともに、信託財産の中長期的な成長を目指します。
主要運用対象	主に、インドネシアの政府、政府機関もしくは企業等が発行する現地通貨建債券に投資します。
組 入 制 限	株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権の行使等により取得したものに限るものとし、株式への投資は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 外貨建資産への投資には制限を設けません。

◎最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	期 騰 落 中 率	債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 額
第 6 期 (2016年8月8日)	円	%	%	%	百万円
第 7 期 (2017年8月7日)	13,255	△ 1.6	96.2	—	55,932
第 8 期 (2018年8月7日)	14,810	11.7	97.1	—	43,836
第 9 期 (2019年8月7日)	13,742	△ 7.2	97.2	—	31,974
第 10 期 (2020年8月7日)	14,475	5.3	97.6	—	26,674
第10期 (2020年8月7日)	15,506	7.1	97.3	—	21,278

(注) 当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

◎当期中の基準価額等の推移

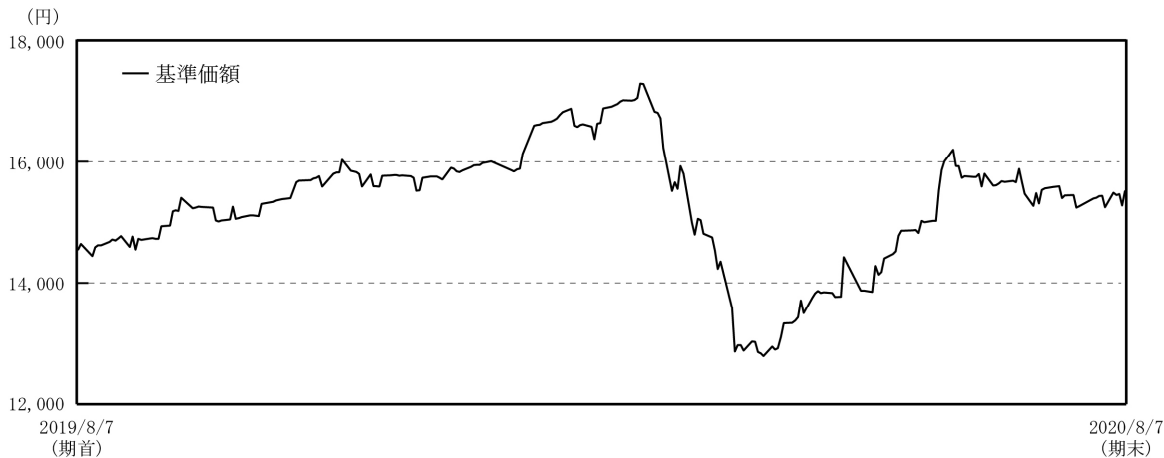
年 月 日	基 準 価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
	円	騰 落 率		
(期 首) 2019年 8月7日	14,475	—	97.6	—
8月末	14,704	1.6	97.4	—
9月末	15,039	3.9	97.7	—
10月末	15,758	8.9	97.0	—
11月末	15,764	8.9	98.1	—
12月末	16,003	10.6	97.9	—
2020年 1月末	16,617	14.8	97.3	—
2月末	16,223	12.1	97.9	—
3月末	13,021	△10.0	97.9	—
4月末	13,767	△ 4.9	97.2	—
5月末	14,995	3.6	97.5	—
6月末	15,656	8.2	98.0	—
7月末	15,243	5.3	97.5	—
(期 末) 2020年 8月7日	15,506	7.1	97.3	—

(注) 騰落率は期首比です。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ◎当期の運用状況と今後の運用方針

### 1. 基準価額等の推移について（第10期：2019年8月8日～2020年8月7日）



### 2. 基準価額の主な変動要因

#### <上昇要因>

組入銘柄の価格上昇（利回り低下）および利子収入がプラスに寄与しました。

#### <下落要因>

インドネシアルピアが対円で下落したことがマイナスに寄与しました。

### 3. 投資環境について

#### 【債券市況】

インドネシア債券市場は、期初から2020年2月半ば頃までは、上昇（利回りは低下）基調をたどりました。世界的な金融緩和の流れ、インドネシア銀行（中央銀行）による利下げなどが追い風となりました。2020年2月下旬から3月下旬にかけては、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を背景とした投資家のリスク回避志向の高まりを受けて、大幅に下落（利回りは上昇）しました。その後、期末までは、新型コロナウイルス感染者数のピークアウトの兆候、投資家のリスク選好度の回復を受けて、債券価格は上昇（利回りは低下）基調をたどりました。

## 【為替相場】

インドネシアルピアは、期初から2020年2月半ば頃までは、対円で緩やかな上昇基調をたどりました。日米欧の中央銀行が金融緩和姿勢を一段と明確に示したこと、2020年1月にはインドネシアの中央銀行がルピア高を容認する姿勢を示したことなどがインドネシアルピアの上昇要因となりました。2月下旬から3月末にかけては、新型コロナウイルスの感染拡大を背景とした投資家のリスク回避志向の高まりを受けて、インドネシアルピアは対円で大幅に下落しました。また4月から6月初めまでは、投資家のリスク選好度の回復を受けて、インドネシアルピアは対円で反転上昇しました。その後、期末までは、円高の進行を背景に、インドネシアルピアは対円で下落傾向となりました。

## 4. ポートフォリオについて

引き続き中・長期国債を中心に投資しました。債券の組入比率は、残存期間1年以上～10年未満の債券が51～61%、10年以上の債券は38～48%としました。

なお、期を通じて、組入債券のデュレーションは5.8～6.3年程度に維持しました。

## 5. 今後の運用方針

インドネシアはこれまで年率5%程度の経済成長を遂げてきましたが、新型コロナウイルスの感染拡大を背景とした国内外の需要と供給の低下により、短期的には大幅に成長率が低下すると見られます。なお、中央銀行は、引き続き景気をサポートすべく、必要に応じて利下げなどの政策対応を取ると考えられます。

中長期的な視点では、新興国経済の中でのインドネシアの優位性は変わることがないと考えます。また、新型コロナウイルス感染症による世界経済の混乱に収束の兆しが見えれば、相対的に良好なマクロ経済基盤と高い債券利回りから、インドネシア債券は再び世界の投資家の注目を集めるとみられます。

引き続き中・長期国債の組入比率を高めに維持する方針です。新型コロナウイルス感染症問題と世界経済の先行きがインドネシアを含めた世界の金融市場の不透明要因ですが、運用にあたってはこれらの状況を注視していきます。

## ◎1万口当たりの費用明細（2019年8月8日から2020年8月7日まで）

項 目	金 額	比 率
(a) そ の 他 費 用	66円	0.433%
（保 管 費 用）	(12)	(0.081)
（そ の 他）	(54)	(0.352)
合 計	66	0.433

- ・期中のマザーファンドの平均基準価額は15,232円です。
- ・各項目ごとに円未満は四捨五入しております。なお、費用項目の概要については、6ページをご参照ください。
- ・「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。
- ・「(a)その他費用」の「(その他)」には、債券売却時に支払った外国税（1万口当たり54円）が含まれます。



◎当期中の売買及び取引の状況（2019年8月8日から2020年8月7日まで）

公社債

			買付額	売付額
外国	インドネシア	国債証券	千インドネシアルピア 427,258,750	千インドネシアルピア 1,207,186,719

(注) 金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 単位未満は切捨て。

◎利害関係人との取引状況（2019年8月8日から2020年8月7日まで）

当期中の利害関係人との取引状況

区分	当			期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 13,772	百万円 —	% —	百万円 21,154	百万円 575	% 2.7

(注) 単位未満は切捨て。

\*利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは、ザ・ホンコン・アンド・シヤンハイ・バンキング・コーポレイション・リミテッド（東京）です。

◎組入資産の明細（2020年8月7日現在）

外国（外貨建）公社債

(A) 債券種類別開示

区分	額面金額	当			期			末		
		評価額		組入比率	うちBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率				
	外貨建金額	邦貨換算金額					5年以上	2年以上	2年未満	
インドネシア	千インドネシアルピア 2,663,449,000	千インドネシアルピア 2,836,982,988	千円 20,709,975	% 97.3	% —	% 79.8	% 17.5	% —		
合計	2,663,449,000	2,836,982,988	20,709,975	97.3	—	79.8	17.5	—		

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 単位未満は切捨て。

(注) 一印は組み入れなし。

(注) 評価額については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しております。

(注) BB格以下組入比率は、S&Pグローバル・レーティングの格付に基づいております。なお、BB格とはBB+、BB、BB-を指します。

## (B) 個別銘柄開示

銘柄名	当 期 末					
	種 類	利 率	額 面 金 額	評 価 額		償還年月日
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
(インドネシア)		%	千インドネシアルピア	千インドネシアルピア	千円	
INDOGB 10% 02/15/2028		10.0	25,600,000	30,558,720	223,078	2028/2/15
INDOGB 10.5% 08/15/2030		10.5	118,000,000	147,339,520	1,075,578	2030/8/15
INDOGB 11% 09/15/2025		11.0	50,000,000	60,807,000	443,891	2025/9/15
INDOGB 5.625% 05/15/2023		5.625	211,000,000	213,943,450	1,561,787	2023/5/15
INDOGB 6.125% 05/15/2028		6.125	175,000,000	169,184,750	1,235,048	2028/5/15
INDOGB 6.625% 05/15/2033		6.625	172,000,000	163,723,360	1,195,180	2033/5/15
INDOGB 7% 05/15/2027		7.0	310,600,000	319,445,888	2,331,954	2027/5/15
INDOGB 7% 09/15/2030		7.0	215,000,000	218,710,900	1,596,589	2030/9/15
INDOGB 7.5% 05/15/2038		7.5	58,000,000	58,626,980	427,976	2038/5/15
INDOGB 7.5% 08/15/2032	国債証券	7.5	100,000,000	102,213,000	746,154	2032/8/15
INDOGB 8.125% 05/15/2024		8.125	40,000,000	43,218,400	315,494	2024/5/15
INDOGB 8.25% 05/15/2029		8.25	127,000,000	139,176,760	1,015,990	2029/5/15
INDOGB 8.25% 05/15/2036		8.25	90,000,000	97,348,500	710,644	2036/5/15
INDOGB 8.25% 06/15/2032		8.25	213,399,000	229,824,321	1,677,717	2032/6/15
INDOGB 8.375% 03/15/2024		8.375	233,000,000	252,968,100	1,846,667	2024/3/15
INDOGB 8.375% 03/15/2034		8.375	212,300,000	232,050,269	1,693,966	2034/3/15
INDOGB 8.375% 04/15/2039		8.375	28,000,000	30,686,880	224,014	2039/4/15
INDOGB 9% 03/15/2029		9.0	191,000,000	217,103,970	1,584,858	2029/3/15
INDOGB 9.5% 07/15/2031		9.5	93,550,000	110,052,220	803,381	2031/7/15
合 計	—	—	—	—	20,709,975	—

(注) 邦貨換算金額は、当期末現在の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価額については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しております。

## ◎投資信託財産の構成

2020年8月7日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 20,709,975	% 97.0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	640,203	3.0
投 資 信 託 財 産 総 額	21,350,178	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) 期末における外貨建純資産 (21,127,516千円) の投資信託財産総額 (21,350,178千円) に対する比率は99.0%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは1米ドル=105.59円、100インドネシアルピア=0.73円です。

◎資産、負債、元本及び基準価額の状況

2020年8月7日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	21,350,178,901円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	263,719,877
公 社 債(評価額)	20,709,975,812
未 収 利 息	333,791,242
前 払 費 用	42,691,970
(B) 負 債	71,287,881
未 払 解 約 金	71,287,124
未 払 利 息	517
そ の 他 未 払 費 用	240
(C) 純 資 産 総 額(A－B)	21,278,891,020
元 本	13,722,718,316
次 期 繰 越 損 益 金	7,556,172,704
(D) 受 益 権 総 口 数	13,722,718,316口
1万口当たり基準価額(C/D)	15,506円

(注) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

《注記事項》

※期首元本額	18,427,531,620円
期中追加設定元本額	827,219,401円
期中一部解約元本額	5,532,032,705円

※当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末保有元本額  
H S B C イ ン ド ネ シ ア 債 券 オ ー プ ン ( 毎 月 決 算 型 ) 13,722,718,316円

◎損益の状況

自2019年8月8日  
至2020年8月7日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	1,417,557,826円
受 取 利 息	1,417,628,265
支 払 利 息	△ 70,439
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	661,870,648
売 買 益	1,394,061,933
売 買 損	△ 732,191,285
(C) 信 託 報 酬 等	△ 100,973,023
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	1,978,455,451
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	8,246,934,320
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	444,410,815
(G) 解 約 差 損 益 金	△3,113,627,882
(H) 計 (D+E+F+G)	7,556,172,704
次 期 繰 越 損 益 金(H)	7,556,172,704

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C)信託報酬等の主なものは、保管費用等です。

(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

◆お知らせ◆

<約款変更のお知らせ> ありません。  
<その他のお知らせ> ありません。